

会 議 録

会議の名称	第3回富士見市スポーツ推進審議会
開催日時	令和8年3月24日（火）午後7時00分～午後7時50分
開催場所	富士見市役所2階 市長公室
出席者	奥山歩会長、谷澤誠副会長、上杉健太委員、矢野千春委員、 家田友樹委員、堀川博基委員、大畠仁委員、湯浅純也委員、 江口碧華委員、岡義朗委員 事務局（文化・スポーツ振興課）
欠席者	なし
会議次第	<第3回富士見市スポーツ推進審議会> 1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）アンケート結果報告 （2）次期計画策定方針 （3）第3期スポーツ推進計画策定スケジュールについて 4 そ の 他 5 閉 会
会議資料	資料1 第2期富士見市スポーツ推進計画・アンケート結果比較 資料2 アンケート結果報告書（※調査の概要のみ抜粋） 資料3 第2期富士見市スポーツ推進計画概要版 資料4 次期計画の概要について 資料5 第3期富士見市スポーツ推進計画策定スケジュール
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	奥山会長

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

（1）アンケート結果報告

【事務局から資料1～3に基づき説明】

【質疑・意見】

- 委員：中学生の結果は適正な数値だと思う。部活の項目に関するアンケートについては学校でもやっているが、部活動が下火となっている。部活動の地域移行、生徒数の減少、指導者の減少などが要因として考えられる。本校では現在80%であるが、5年前は90%であった。学校スポーツから市民スポーツへの移行も行政主体で考えてもらえると良いと思う。
- 委員：数字だけでは判断が難しい。小学生の結果はある程度妥当だと思う。小学5年生はやりたい運動からやらされる運動に変化する年頃のため、小学2年生とか1年生だと全く違う結果になると思う。
- 委員：障がい者スポーツを体験したりしたことがある人の割合について、令和2年度の現状値より下がっているが、市が地域の拠点としてやっていくことで、活動を広げていきたい。
- 委員：障がい者スポーツは障がいの有無に関わらず盛り上げていきたい。
- 委員：週1回以上スポーツをする人の割合について、今回のアンケート調査結果は良いのか悪いのか見解を伺いたい。また、一般と小中学生との数値に開きがある。現状値と目標値を一般と小中学生をまとめているのであれば、まとめることは妥当ではないと考える。
- 事務局：アンケートの取り方として、前回令和2年度に実施した際は、『スポーツをどの程度していますか』という問いであったが、今回は『この1年間でスポーツをどの程度やっていますか』という、1年間に限定して聞いたため、そこもある程度は影響しているものと考えている。全体的に見てもやはり下がっているというのは把握しているため、そのあたりの分析に関しては、委託業者にそういった傾向がある旨も含めて確認を依頼しているところ。令和2年度の現状値の数値は一般調査のみとなっている。
- 委員：前回調査はコロナ禍か。
- 事務局：そのとおり。
- 委員：アンケートに回答する年齢層はどの程度差が開いているか。
- 事務局：市内の16歳以上の方を対象にアンケートを取っている。80歳以上の方も含め、幅広い対象者がアンケートに回答していただいている。
- 委員：回答年齢層の分布はどのようになっているか。
- 事務局：年齢層で見ると、10代が全体の3.9%、一番比率が多いのは50代が全体の21%、80代以上も12%は回収できている。
- 委員：調査結果について、現状値が令和2年度の値ということで、コロナの真っ最中の一番低い数値であるにもかかわらず、現状それを下回っている所が問題である。目標値の設定自体はそんなに高くないと思うが、コロナ禍でスポーツをする人が

一番減った時期と比べ、現状そこに達していないというところも課題だと思う。次期計画ではその辺の課題をどう解決するのが大事だと思う。

委員：やはり目標値に達していないというのが課題だと思う。障がい者スポーツについて、私はどんどん体験していきたい。また、アンケート結果から、障がい者スポーツについては、子どもたちも結構興味があると思うので、ぜひやる場所見る場所を富士見市に作ってほしいと思う。

(2) 次期計画策定方針

【事務局から資料4に基づき説明】

【質疑・意見】

委員：基本計画と一体化した場合、本審議会はなくなるのか。

事務局：審議会はなくなる。上位計画の下に実施計画があるため、基本計画と一体化した後は、審議会では実施計画の内容を話し合うことになる。

事務局：上位計画である富士見市第2期基本計画で各施策に数値指標を設定しており、その数値を実現するための計画として第3期スポーツ推進計画を考えている。第3期スポーツ推進計画でも具体的な取組などを明記する予定なので、大まかな計画とはならない。

委員：富士見市第2期基本計画には委員の声は反映されないのか。

事務局：富士見市第2期基本計画は策定済みのため、委員の皆様の声を反映することはできない。富士見市第3期基本計画策定時には、担当課から意見を言うことができるため、委員の皆様の声も反映できると考えている。

(3) 第3期スポーツ推進計画策定スケジュールについて

【事務局から資料5に基づき説明】

【質疑・意見】

委員：令和8年度は忙しくなるという認識でよいか。

事務局：令和8年度は庁内検討委員会及びスポーツ推進審議会に委託業者に出席いただき、分析、基本理念、骨子案などのご説明をさせていただく。方向性をまとめさせていただくということでは、皆様で集まってご意見を反映させていくようになると思う。

委員：最終的な完成形はまだ見えてないが、せっかく今回中学校2年生にアンケートをとったので、彼らにパブコメまではいかなくとも、意見を聞いてみても中学生らしい面白い回答が出てくるかなと思う。

委員：中学校2年生に対するヒアリングについては、私たちも思いつかない貴重な意見が出てくるかなとも思う。

委員：第3期スポーツ推進計画策定に向けてその根拠となるデータについて伺う。例えば事務局の方で、学校施設を使っている開放団体の数が増えているとか、その組織人数が増えているのか、あとは、富士見市内のクラブチームのチーム数や、児童数が減少している中で、その競技人口はどこまで増えているのかなどのデータはあるのか。

事務局：学校開放の人数に関しては、毎年集計はしているので、お示しできると思うが、クラブチームに関しては、スポーツ少年団に登録している団体であれば把握ができていますが、それ以外のチームに関しては把握ができてない。どのレベルで提示できるかについては検討したい。

委員：支援学校に通っている生徒の中には、障がい特性や体調の理由などから、一般の子と同じ頻度や同じ形でのスポーツの参加が難しい場合がある。そのような中でも、学校では短い時間でも体を動かしたり、安心した環境で活動できる指導をしているので、今後スポーツ推進、障がい者スポーツとして方針検討を進める時に、競技や回数だけではなく、多様な参加の仕方にも目を向けてもらいたい。そういったところも含めて検討していただくと、特別支援学校に通っている子たちの気持ちや意見も反映できると思う。

事務局：特別支援学校にも、富士見市スポーツに関するアンケート調査を実施している。確かにその設問としても、スポーツの実施、行う場所、行うスポーツ、一緒に行う方、スポーツをする理由、市主催のスポーツ教室の参加について、どのようなスポーツでも参加したいか、直接観戦したい競技、障壁となっていること・必要だと思うことというような内容であったので、委員ご指摘のとおり多様化できるような設問にすることで、より充実の方にも向かうのかなと思う。

委員：アンケートを集計する中で、スポーツをやらない理由、やれない理由みたいなのも気になった。この理由を改善出来たら目標値に近づけるのかなと思う。

事務局：本日はアンケート結果を全部お持ちしてないので申し訳ないが、アンケートで週1回以上スポーツを行わなかった理由というような設問を設けている。月に1回から3回とか年に数回とかほとんどしてない方、ほとんどしないを回答した方を対象の設問。週1回以上スポーツを行わなかった理由では、仕事や学業が忙しいからが38.4%で最も多く、次に機会やきっかけがないからが31.1%、家事育児、介護などが忙しいから22.6%お金がかかるから19.5%というような形で、やらない理由のところは回答をいただいている。このあたりの分析も業者の方に依頼している。

委員：インナー事業またはアウトター事業のどちらに目を向けるかも重要である。インナーは地域住民に向けた事業、アウトターはシティセールスのような外に向けて売り

込むみたいな事業で、スポーツコミッションという組織の文脈でよく使われている。これはトレードオフの関係でもあり、例えば全国大会のために体育館を使えば市内の人は使えなくなってしまうといったところである。行政の立場的に色々な事業をやらなきゃいけないということもあると思うが、その辺をちゃんと意識した方がいいと思う。

委員：前回の会議で、体育館を行政が使用しており、一般の人が使えないとっていう意見もあったと思うので、確かにそういう視点も必要だと思う。

委員：市内で全国大会が行われる場合、市が予約をしていると思うが、全国大会をやっている割には大きくPRされてないという現実がある。せっかく全国大会を開催するのであれば、しっかりとPRするべきだと思うが、行政はPRが上手くないと感じる。発信して力を備えてほしい。

委員：行政のPR方法については、以前から課題になっている。そこでシティプロモーションに力を入れるため、シティプロモーション課でも職員に対して情報発信能力を上げるような研修を実施するなど、今まさにそこに取り組んでいるところである。近年、チラシのデザインの向上など少しずつ効果も出ていると思う。

4 その他

委員：ガーデンビーチ跡地の件で、現在の進捗を教えてほしい。

事務局：市では様々な施設を抱えており、新庁舎整備や、市内公共施設の改修など、様々な要因があり、多目的屋外スポーツ施設は計画通り進められていない現状があるが、庁内でも調整を取りつつ、進めるときには委員の皆様にご説明をさせていただきたいと思う。現在は未定という形になっていることをご理解いただければと思う。

5 閉 会

以 上